

令和8年度 芸術鑑賞補助対象事業一覧

R8. 4. 1 公開

高知市文化プラザ(かるぽーと) (TEL:088-883-5071)			
催物名	実施期間	補助額	催物内容
タレガ・ギターカルテットコンサート	令和8年8月22日(土)	一般 高校生以下 500円	名実共に著名な朴葵姫、愛媛県に親戚の居る岡本拓也、徳島県出身の徳永真一郎、そして高知県出身の松田弦と、四国にゆかりのあるギターカルテットによるコンサート。
「他人」	令和8年12月12日(土) 13日(日)	一般 25歳以下 500円	令和4年、日本劇団協議会が制定する「日本の劇戯曲賞」において最優秀作を受賞した高知県土佐清水市出身の竹田モモコ作「他人」を、高知にもゆかりの深い南河内万歳一座の内藤裕敬が演出する演劇公演。

高知県立美術館 (TEL:088-866-8000)			
催物名	実施期間	補助額	催物内容
レオ・レオーニと仲間たち展 <巡回展>	令和8年4月24日(金) ~7月2日(木)	一般 500円 大学生 450円	『スイミー』、『あおくんときいろちゃん』などの絵本で知られているレオ・レオーニの、絵本だけではなく多様な作品世界を紹介。
戦争(仮) <館蔵品展>	令和8年7月19日(日) ~9月22日(火)	一般 400円 大学生 250円	第二次世界大戦が日本の敗戦で終結して81年。いまだに世界各地では戦火は消えることがない。当館のコレクションから、戦争を主題にした作品を精選し、戦争の真実を世に問う。
かたる絵金、かたられる絵金(仮) <自主企画展>	令和8年10月31日(土)~ 令和9年1月11日(月)	一般 大学生 500円	開館以来3回目となる絵金の大規模な展覧会。これまでの展示とは目先を変え、絵金の魅力を多様な切り口で提示する。
大木裕之展 <自主企画展>	令和9年1月23日(土) ~3月28日(日)	一般 500円 大学生 450円	高知に拠点を置き活躍した大木の多彩な創造行為の総体を過去最大規模で回顧する。

高知県立文学館 (TEL:088-822-0231)

催物名	実施期間	補助額	催物内容
生誕 100 年記念 宮尾登美子展	令和 8 年 4 月 11 日(土) ~6 月 28 日(日)	300 円	『權』『春燈』『朱夏』『仁淀川』の自伝四部作や直木賞受賞作の『一絃の琴』など、日本的な風土や因習の中でしなやかに生きる女性の姿を描きつづけた高知県出身の人気作家、宮尾登美子の生誕 100 年を記念しての展覧会。直筆原稿や愛用の品々も紹介。
フェアブル昆虫記展	令和 8 年 7 月 25 日(土) ~9 月 27 日(日)		様々な昆虫の習性について研究をしたフェアブルが記した昆虫記は、世界各国で翻訳され、今なお広く読まれ続けており、科学書としてだけでなく、文学作品としても高い評価を受けています。誰もが楽しめる体験型の展示を中心にした展覧会。
生誕 100 年記念 松谷みよ子展	令和 8 年 10 月 17 日(土)~ 令和 9 年 1 月 11 日(月)		児童文学作家として『貝になった子供』でデビューし、『龍の子太郎』や「モモちゃんとアカネちゃん」シリーズなど、児童文学、民話、小説、詩集等、多岐にわたるジャンルで読者の心に残る作品を書き続けた松谷みよ子の生誕 100 年を記念しての展覧会。高知との関係も深く、「お月さんもいる」に代表される土佐民話の採話・創作もされたその生涯をひも解きながら、松谷みよ子の作品の魅力に迫ります。
日本の親子展	令和 9 年 1 月 23 日(土) ~3 月 28 日(日)		文学作品のひとつの大きなテーマとして、親子の関係を描いたものがあります。安岡章太郎の『海辺の光景』、田宮虎彦の『異母兄弟』など子の視点から親を見つめた作品、幼い我が子を想って編まれた清岡卓行の詩集『幼い夢と』など、親の視点から描かれた作品…。確執、愛憎、または深い愛情など、様々に交差する親子の姿を文学の視点から読み解くとともに、そこから見えてくる私たち人間の心のありようを見つめます。

高知県立歴史民俗資料館(TEL:088-862-2211)

催物名	実施期間	補助額	催物内容
企画展 「歴民コレクションをひもとく ーあつめる、つたえるー」	令和8年2月27日(金) ~5月17日(日) ※ 補助対象は、4月1日から	350円	“「高知」の過去と未来をつなぐ”をキーワードに、開館当初に移管された懐徳館資料や郷土文化会館資料をはじめ、考古・歴史・民俗の3分野の代表資料、分野をまたがる家資料である堀見家資料、地震・津波などの災害に備えて当館でお預かりしている龍乗院の資料(重要文化財)などを展示、紹介することにより、収蔵品の意義を問い直す。
企画展 「からくり人形のヒミツー細川半蔵と『機巧図彙』の世界ー」	令和8年7月3日(金) ~9月27日(日)		現在の南国市に生まれた、江戸時代からくり師・細川半蔵が没してから、令和8年で230年となる。半蔵作と伝わる茶運び人形や、半蔵の著作『機巧図彙』などを展示、紹介することにより、からくりの仕組みを読み解き、江戸時代のものづくり技術とその文化的背景を考えるきっかけとする。
企画展 「長宗我部元親の城づくり ー四国制覇に向けてー」	令和8年10月23日(金)~ 令和9年1月11日(月)		四国を代表する戦国武将「長宗我部元親」が居城とした岡豊城跡に立地する当館において、長宗我部勢力が関わった四国の城郭の縄張り図・写真や出土資料を中心に展示、紹介することにより、城づくりからみた元親の四国制覇の痕跡をたどる。
企画展 「植物とくらしー茅葺 職人 川上義範さん のわざー」	令和9年2月26日(金) ~5月16日(日) ※ 補助対象は、3月31日まで		「現代の名工」に選ばれた梶原町在住の茅葺職人、川上義範氏の職人道具や茅葺の構造模型をはじめ、川上氏が修理に当たった当館の山村民家の写真などを通じて、土佐伝統の茅葺技術を紹介することにより、自然と共存しながら暮らしてきた人々の歴史や技に関心を持っていただく機会とする。

土佐清水市立市民文化会館(TEL:0880-82-3300)

催物名	実施期間	補助額	催物内容
宝くじワクワクふるさと劇場	令和8年9月以降 (予定)	500円	若手、ベテラン漫才師や落語家、吉本新喜劇らから成るお笑いステージ。(宝くじ助成事業)
上方落語 くしかつの会	令和8年10月4日(日)		桂春蝶、桂吉弥、桂かい枝ら上方落語家3名による落語会。